

第11回 7月4日の講義内容

■ ケース & ディスカッション (2)

- 題材:
経済同友会「企業の採用と教育に関するアンケート調査」(2006年調査)

7/4/07

1

ディスカッションのポイント

- 調査の目的と分析枠組(もしあれば)の妥当性
- 設問が分析枠組(分析枠組がない場合には、想定される関係性)に沿っているかどうか。
- ワーディング(Wording)や回答方法、選択肢が適切であるか。
- 集計・分析手法が適切であるか。

7/4/07

2

7/4講義後追加スライド

Point 1. 目的と枠組みの妥当性

- この調査は

{	記述的	8
	分析的	2

理論(モデル)背景は？



- 1部と2部がリンクしていて小～高への社会貢献をしている企業ほど新卒採用に関して学校不問の傾向にある。(仮説)
- 関係はあるかもしれないが、報告書にその分析がないから、あまり考えていないのでは？

7/4/07

3

7/4講義後追加スライド

Point 1. 目的と枠組みの妥当性(続)

- 目的 … 定点観測 → 実態の記述
- 分析的であれば、企業の属性とのクロス表がある筈

7/4/07

4

Point 2. 設問が想定される関係に沿っているか

7/4講義後追加スライド

- 出身校を重視しないという結果
 - 必ずしも実態を反映していない
 - 設問に問題アリ?!
- 制度を聞いているのか？
実態を聞いているのか？
- 第2部：会社が社会に貢献しているように見える回答になっている。
希望か実体か？

7/4/07

5

Point 2. 設問が想定される関係に沿っているか(続)

7/4講義後追加スライド

- 目的が教育への社会貢献であるのに、奨学金制度についてほとんど触れられていない。
- 選考基準の順位付けに意味があるのか？
試験合格者に対して面接
- 年齢制限についての質問・・・新卒とだけ言及
学部卒と院卒では異なるのでは？

7/4/07

6

Point 3. Wording、回答方法など

7/4講義後追加スライド

- 学校で判断するかどうか
 - 書類、面接の各時点がある
 - … どちらを聞いているのか、また双方なのか不明
- 問4：その他への回答が50%
→ もっと選択肢を増やすべき
- 「上位3つ」という聞き方でよいのか
 - 想定される要素について、「考慮する／しない」で答えてもらう方法もあるのでは？
 - ← 目的による

7/4/07

7

Point 4. 集計・分析手法の適切性

7/4講義後追加スライド

- 第2部で企業名を挙げる必要はあるのか？
- 属性(業種)とのクロス集計がない

7/4/07

8